

忘れない……。  
あの春、かけがえのない友達と出会ったことを。



# 子ぎつねへレン

実話から誕生した、キタキツネと少年の心の交流を描く愛と感動の物語。

大沢たかお 深澤 嵐 小林涼子 松雪泰子

原作:竹田津実「子ぎつねへレンがのこしたもの」(偕成社刊) 脚本:今井雅子 音楽:西村由紀江 監督:河野圭太

製作:「子ぎつねへレン」フィルムパートナーズ 配給:松竹

[www.helen-movie.jp](http://www.helen-movie.jp)

2006年3月春休み 全国ロードショー

少年は子ぎつねに  
「ヘレン」と名づけた。  
その名前には、  
とても大切な意味があった。



## 愛とやさしさに包まれて懸命に生きようとする一匹の子ぎつねの感動の物語

ある日、少年は、ひとりぼっちの子ぎつねに出会った。待ち望んだ春の陽射しを浴びて緑に輝く北海道の大地で——。母ぎつねの姿はどこにもなく、子ぎつねは道端にうずくまったまま動こうとしない。少年は、そんな子ぎつねを思わず抱き上げる。都会から引っ越してきたばかりの少年の名は太一。カメラマンとして世界中を飛び回る母に置いていかれ、たった一人で森の中の動物診療所に預けられた自分に、寂しそうな子ぎつねの姿を重ねたのだ。

やがて太一は、子ぎつねの様子が少しおかしいことに気づくが、診療所の獣医・矢島に見守られながら、「ヘレン」と名づけた子ぎつねを一生懸命に育てていく。初めての、そして誰よりも大切な友達——。しかし、咲き誇る黄色いタンポポが白い綿毛に変わる春の終わりに、あまりにも早い別れが訪れた……。

原作は、キタキツネの生態調査の第一人者で、傷ついた野生動物の

保護・治療・リハビリに取り組み、写真家・エッセイストとしても活躍している竹田津実の「子ぎつねヘレンがのこしたもの」(偕成社刊)。実在した目と耳が不自由な子ぎつねを、やさしく温かな眼差しでとらえた写真と、命の意味を問いかける文章で綴った感動のベストセラーである。

不器用で人とうまく付き合えないが、心根はまっすぐな獣医・矢島を演じるのは、「世界の中心で、愛をさけぶ」「解夏」に主演し、今やヒット作には欠かせない存在となった大沢たかお。明るく前向きな太一の母・律子には、ドラマや舞台で活躍、3年ぶりの映画出演に本作を選んだ松雪泰子。太一には、TVドラマ「みんな昔は子供だった」で注目された深澤嵐、矢島の娘・美鈴には、「HINOKIO」にも出演、人気急上昇中の小林涼子が扮している。監督は、「王様のレストラン」「古畑任三郎 すべて閣下の仕業」「白い巨塔」など数多くのヒットドラマを手がける河野圭太。

2006年春、愛とやさしさに包まれた珠玉の感動作が誕生します。



## 子ぎつねヘレン

大沢たかお 深澤嵐 小林涼子 松雪泰子  
原作:竹田津実「子ぎつねヘレンがのこしたもの」(偕成社刊)  
脚本:今井雅子 音楽:西村由紀江 監督:河野圭太  
製作:「子ぎつねヘレン」フィルムパートナーズ 配給:松竹  
[www.helen-movie.jp](http://www.helen-movie.jp)

2006年3月春休み 全国ロードショー